

保育所の自己評価

平成28年度

「保育所は、保育の質の向上を図ため、保育の計画の展開や保育士等の自己評価結果を踏まえ、当各保育所の保育の内容について自ら評価を行い、その結果を公表するよう努めなければならない。」と保育指針に明記されています。当法人では、このことに基づき検討し、保育園(組織)としての自己評価にについて、評価の項目、支点方法および評価結果の示し方等についての標準的な様式として作成しました。当保育園は、保育士自ら、園を評価及びこれに基づく改善という一連の取り組むことにより保育の質の向上を図ります。

<評価について>

評価するにあたっては、以下のような基準で評価を行っています。

- | | | | |
|---|---|---------|------|
| A | － | 大変良い | (4点) |
| B | － | ほぼ出来ている | (2点) |
| C | － | 改善を要する | (1点) |

保育士の評価を点数で表し、評価の低い項目を意見として述べています。

評価基準 A: おおむね達成出来ている B: ほぼ出来ている C: 検討・改善が必要
 ※当てはまる評価に○を付けて下さい。

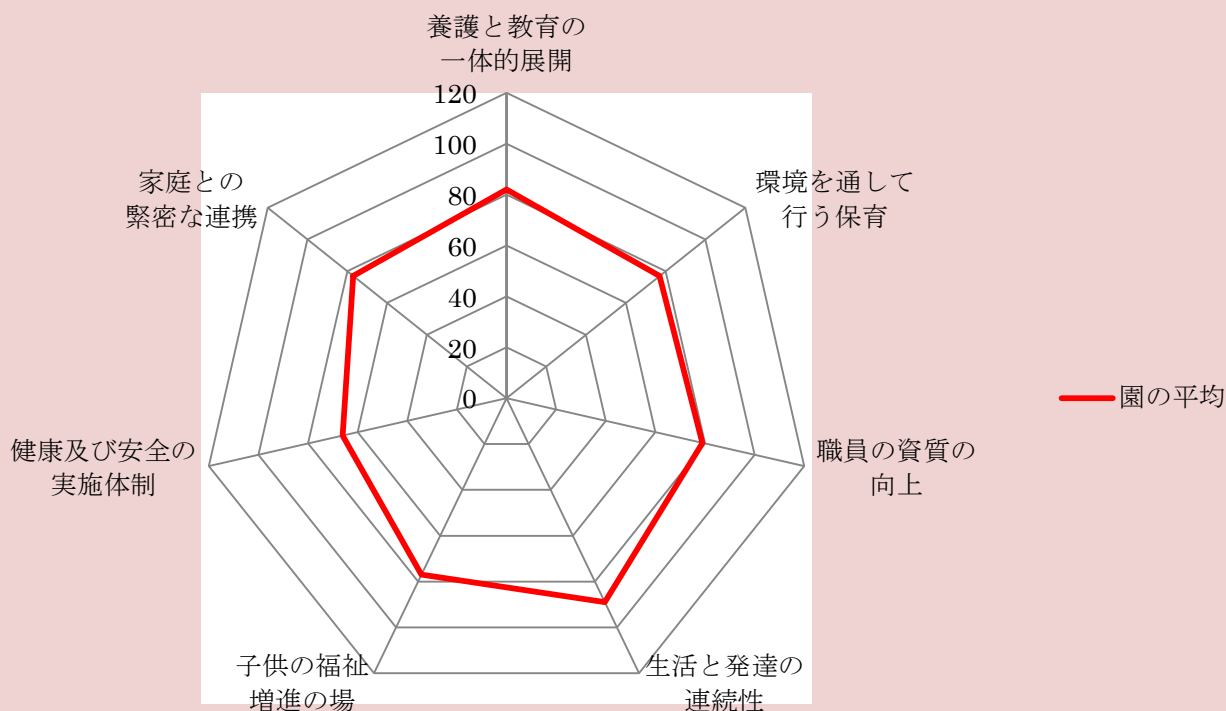
平成28年度

項目	内 容	評 価			点 数	意 見
		A	B	C		
保育課程	①保育課程の作成には職員が参加している。		○		2.1	①について、効率よく職員が全員で参加できる方法で、保育計画を作成するように行う。
	②地域の実態や保育者の意向などを考慮して、保育課程を作成している。		○		2.1	
保育理念	☆豊かな人間性をもった子どもを育成するために、情緒の安定と発達をはかり「感謝の心」を養い「子ども自身が生きていく力」を育て、「生きる喜び」「健康で想像力のある子ども」を育ていく。	/				①について、保育士間で、確認を行う。 ②について保育理念等を、保護者にも見える場所へ掲示する。
	①保育理念を年度初めに職員で確認している。			○	1.3	
	②職員や保護者の見やすい場所に掲示している。			○	1.5	
	③保護者に配布物を通して、保育理念や保育方針を周知している。			○	1.8	
保育目的	☆心身ともに、健康でたくましい子ども。ありがとう、ごめんなさいを素直に言えることも自然環境に興味を持つ子ども。子ども一人ひとりの個性を大切に、子どもとともに創る。	/				②について、全職員が参加できるよう効率化を図り、共通理解を図るようにする。
	①保育目標は、社会の要請や保護者の願を反映しているか。		○		2.6	
	②保育目標は、前年度の反省を活かし、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。			○	1.1	
指導計画	①各年齢の子どもの発達状況に配慮した指導計画になっているか。		◎		3.6	
	②環境構成や素材・用具を適切にいかした保育計画にかっているか。		○		2	
	③保育所の生活における子どもの発達過程を見通し、生活の連続性、季節の変化などを考慮し、子どもの実態に即した具体的なねらいに及び内容を設定している。		○		2.6	
保育内容	①子ども一人ひとりへの理解を受容しようと努めている		◎		3	②については、年齢の低いトイレや手洗い場など子ども達が積極的に活動できるように改善が必要に感じる。
	②子どもの基本的な生活習慣が身につくように積極的に活動できるよう、環境が整備されている。			○	1.5	
	③様々な表現活動が体験できるように配慮している。		○		2.5	
	④身近な自然や社会とかがわられるような取り組みがなされている。		○		2.6	
	⑤遊びや生活を通して、人間関係が育つよう配慮している。		○		2	
保育・行事	①一日の流れ(ディリープログラム等)は現行でよいか。		◎		3.3	
	②行事の種類や実施計画は適切である。		◎		3.3	
	③計画・実施・評価・改善の体制がとられているか。		○		2.6	
	④保護者の願いや意見を取り入れているか。		◎		3.3	
健康管理	①健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成の為、「園だより」「保健だより」などで情報を保護者に提供しているか。	○			4	
	②乳幼児の安全確保のために家庭、地域社会、関係機関と連携を図っているか。		○		2.8	
	③感染症などを予防するマニュアルがあり、職員に周知し実行している。		◎		3	
食事	①食事を通して子ども達が楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫している。		○		2.6	
	③アレルギー疾患などを持つ子に対し主自医からの支持を得て適切な対応を行っている。		◎		3.6	
	③間違えのないよう個別のトレーなどで分け調理師同士や保育士と確認している。		◎		3.6	

項目	内 容	評 価			点 数	意 見
		A	B	C		
環境	①園内の清掃がなされ、清潔に保たれ子どもが心地よく過ごせるように配慮している。		○		2.6	
	②園内外の衛生面・安全面に配慮している。		◎		3	
	③園内に子ども達が季節感を味わえるような工夫をしている。		○		2.3	
人権尊重	①子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮している。		◎		3	②については、保育園には限界があり、役場等に多国籍の保護者専用の窓口を設けてもらうよう働きかける。
	②日本語によるコミュニケーションが困難な保護者に対して、園の意向や連絡事項が正しく伝わるように配慮している。			○	1.6	
	③性差への先入観による固定的な概念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している。		○		2.6	
子育て支援	①送迎の際の対話や連絡事項への記載などの日常的な情報交換に加えて、別に機会をつけて相談に応じて個別面談を行っている。		◎		3	
	②家庭の状況や保護者との情報交換が、必要に応じて、関係職員に周知されている。		○		2.3	
	③保育士は日常、保護者や子どもの様子に注視し、虐待の予防や早期発見に努めている。		◎		3.3	
	④あらかじめ年間行事の目標を知らせ、保護者が保育参加の予定を立てやすくしている。		◎		3.6	
地域との連携	①地域の関係者機関などと連携を深めるようにしている。(育児相談などに際して、専門機関と相談や連携が出来ている。)		○		2.5	
	②地域のイベントやまつりに参加し、地域の人々と交流できる機会をつけている。		◎		3	
	③ボランティア・体験保育の人々を積極的に受け入れている。		◎		3.1	
	④幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		2.8	
開かれた保育所づくり	①地域子育て支援センターとして、園庭や中庭、保育室等を開放しているか。		○		2.5	④について、園長が幼稚園・小学校へ積極的に見学等に参加してはどうか!
	②地域の子ども達同士、あるいは親子が一緒に遊ぶことが出来るような場の設定を行っているか。			○	1.6	
	③職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。			○	1.6	
	④参観や保育・授業等に参加するなどして、幼稚園・小学校の教育を理解しているか。			○	1.6	
	⑤保育園だより、クラスだより・ホームページ等で施設の情報を発信しているか。		◎		3.3	
危機管理	①避難訓練・交通安全指導を行い、計画に基づいて適切に実施しているか。	○			4	
	②緊急時、慌てずに対応できるように、医療機関の連絡先を表示している。		◎		3	
	③乳幼児の安全を図るため、家庭・地域社会・関係機関と連携を図っているか。		○		2.3	
守秘義務	①子どもの個別記録は、個人情報保護法に基づき管理しているか。	○			4	
	②保育業務で知りえた子どもの家庭に関する秘密の保持について、全職員に周知し、守られているか。		◎		3.3	
園内研修	①各研修会・講習会への参加体制の充実を図っているか。			◎	1.8	①について、職員が参加できる勤務体制を整える
	②研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育成に反映させているか。		◎		3	
組織運営	①係りや仕事の分担・役割は適切であるか。		○		2.6	③話し合う機会定期的にを増やして行く。
	②職員相互がそれぞれに全体的立場を理解し、協力や助言を惜しみなく保育園の運営にかかわっているか。		○		2.3	
	③職員の意見を聞いたり、話し合う機会を定期的に持っているか。			◎	1.6	

保育士自己評価 平均の分析グラフ

実施日 平成 29 年 2月28 日



このグラフから、課題や特色を見つけ自己評価結果の活用にする

	平均点
養護と教育の一体的展開	82
環境を通して行う保育	77
職員の資質の向上	79
生活と発達の連続性	89
子供の福祉増進の場	77
健康及び安全の実施体制	66
家庭との緊密な連携	77

○職員の点数からも“健康・安全の実施体制”が低く職員の弱点が浮き彫りにされているように読み取れる。職員一人一人がもっと気配りをもって保育にあたるようにし、園全体で取り組んで課題を感じる。
○70点台の“環境を通して行う保育”や“家庭との緊密な連携”など園内研修を増やして行きたい。

※保育士は、保育所保育指針にうたわれているように、資質向上を図るために自己評価を行い、課題等を踏まえ職務内容に応じた専門性を高める為、必要な知識及び技術の習得を努めなければならない。とうたわれています。平成 28 年度に行った自己評価を分析し、職員の専門性を高め、資質向上に努めて行きたいと考えております。